

蔵王 ムーンライトウォーキング

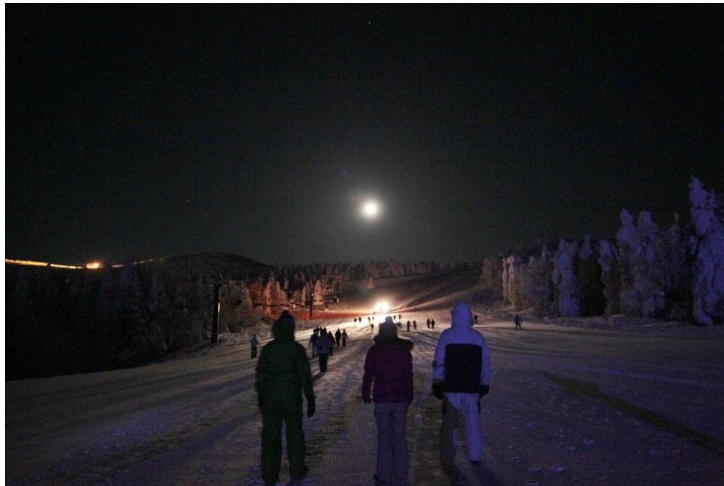


EOS KissX3/17-70 F2.8-4 OS HSM/F3.5/1/30 秒/ISO-1250

樹氷が色彩豊かな光で、漆黒の闇に浮かんだ。樹氷の背景は上山温泉の夜景。その奥には、米沢の街灯りも見えた。



EOS KissX3/17-70 F2.8-4 OS HSM/
F3.5/1/8 秒/ISO-1600



EOS KissX3/17-70 F2.8-4 OS HSM/F2.8/1/8 秒/ISO-1600



EOS KissX3/17-70 F2.8-4 OS HSM/
F4.0/1/50 秒/ISO-1600

「本日は晴天、樹氷は月下美人」

蔵王地蔵山頂駅を出ると漆黒の闇の中で輝く満月に迎えられた。ライトアップされていない場所は、幻想的な月光を身体に浴びて、ゲレンデを歩いた。

正確な温度は分からなかったが、気温は確実にマイナス10℃を下回っていただろう。素手でカメラを構えた時、冷たさが痛みになり次第に指先の感覚が失われた。指が完全に凍結してしまう前に慌てて手袋を装着した。そんな過酷な状況ですら、カメラは軽快にシャッターを切り、レンズ内蔵の手ブレ補正機能 OS も正常に動作してくれたのは嬉しい誤算だった。

晴天に恵まれこの日は特に空気が澄んでいて、夜空には満月だけではなく満点の星々が輝いていた。月下の樹氷、街の夜景、星空、その全てが同時に目に飛び込んできた。現実を忘れるほどのその美しいパノラマ世界を写真におさめることが出来なかったのは誠に残念である。

仕方がないのでその絶景を眼球のレンズを通して、脳というメモリに焼き付けたのだった。



「氷点下マイナス10℃以下の樹氷鑑賞会」
蔵王の樹氷は、「アイスモンスター」とも呼ばれる雄大で繊細な氷と雪の自然芸術である。宵間に美しい樹氷が浮かび上がるライトアップは、12月下旬から3月上旬の期間5日程度行われているが、蔵王地蔵山頂駅から樹氷高原駅までのスキーゲレンデを歩く「特別なイベントが開催された。前回のイベントが悪天候により中止となった為、今回が初開催。スタッフの方達の意気込みも違った。」

2011年2月19日